

だんだん通信

2024
5月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。

鮮やかな緑に溢れる男山団地B地区の緑道。

俳句を通じて交流をしたいと思います、

だんだん句会を始めました。

指導者を招くのではなく、自分たちで講評

しあって活動しています。

だんだん句会

毎月第一土曜日十時半～メンバー募集中！

だんだん句会 選句

万緑を肺腑の底で味ひぬ 正	葉桜の頃と決めたる一人旅 亜矢	緑さす通天橋の若き僧 千恵	蒼天へエイエイオウと緑立つ せい子	梅雨晴れや笹舟浮かぶ水たまり 立
------------------	--------------------	------------------	----------------------	---------------------

俳句の魅力とは？

俳句はシンプルな言葉の中に奥深さが広がっています。五七五の十七音のルールの中で季語を織り交ぜながら、日常の美しさを表現する楽しみを共有しませんか？

同じ一句でも、人それぞれに異なる解釈が生まれることがあります。しかし、その多様性こそが俳句の魅力であり、新たな発見へと繋がるきっかけとなります。

俳句に興味がある方、ぜひご参加ください！

おとこやまとわたし

男山地域は、日本住宅公団（現UR都市機構）によって開発され、昭和47年（1972年）のまちびらきから50年以上が経過しました。まちびらき前の昭和45年（1970年）の八幡市の人口は約2万3千人でしたが、昭和50年（1975年）には5万人を超え、急速に増加しました。そして昭和52年（1977年）11月1日に市制が施行され、八幡市となりました。令和9年（2027年）には市制施行から50周年を迎えます。

現在の八幡市の人口は約6万9千人であり、そのうち約2万人が男山地域に居住しています。50年の歳月が経過し、団地内の緑道は豊かな緑地帯に成長しました。だんだん通信では、実際の居住者などから働き方や暮らしの変化、地域の歴史などに関する話を聞き、男山地域について様々な視点から情報を発信していきます。男山地域について考えるきっかけとなれば幸いです。

■予定

朝 10時からのラジオ体操

日 時：毎日10:00～
場 所：男山中央センター商店街

だんだん朝市

日 時：毎週火・木曜日10:00～
場 所：だんだんテラス

やってみよう会議

日 時：第3土曜日13:00～15:00
場 所：だんだんテラス

だんだん読書会

日 時：毎月第1月曜日
場 所：だんだんテラス
参加費：100円

だんだん句会

日 時：毎月第3水曜日・1土曜日
場 所：だんだんテラス

歌を歌う会

日 時：毎月第3水曜日
場 所：だんだんテラス

だんだん手づくり市

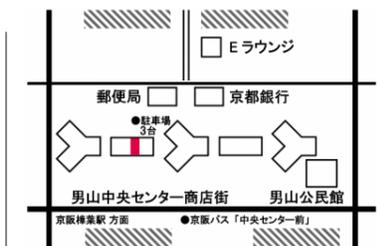
日 時：毎月8日10:00～15:00
場 所：男山中央センター商店街

だんだん手づくりWS

日 時：第1、第4水曜日
10:00～15:00
場 所：だんだんテラス

イーゼーランゲージジャパニーズ

対象：20歳以下の日本語を学びたい方
日 時：毎月日曜日（要確認）
主 催：イーゼーランゲージジャパニーズ
共 催：（公財）京都府国際センター
場 所：だんだんテラス
募 集：支援者の方を募集しています。
元教員の方、日本語教育を学ばれている方など関心のある方がいらっしゃいましたらご連絡ください。
メール：yawata.kodomo619@gmail.com



住 所：京都府八幡市男山八望3-1847-104

男山中央センター商店街

アクセス：京阪バス 中央センター前下車

Eメール：dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信5月号

発行日：2024年5月17日

発行元：四者連携協議会

編 集：藤本恭輔

※次回は7月中旬頃に7月号を発行予定です。

男山地域のまちづくりに 関するアンケート結果

八幡市では、平成25年10月に京都府知事を立会人とし、関西大学、UR都市機構、八幡市で締結した「男山地域まちづくり連携協定」および平成26年3月に策定した「男山地域再生基本計画」に基づき、男山地域再生に向けた取組を進めてきました。

この取組を始めて10年目となった令和5年度、これまでの取組を振り返り、今後のまちづくりの取組に活かすため、地域の現状や取組の認知度等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

アンケート調査では、地域のために大事だと思う取組や地域に求められている場所、興味のある活動テーマ等について調査を行いました。以下にアンケート結果の一部を抜粋して掲載しています。詳細につきましては八幡市のホームページをご覧ください。

これらの調査結果も参考にしつつ、引き続き男山地域再生に取り組んでいきます。



古着で何つくろ？を実施しました！

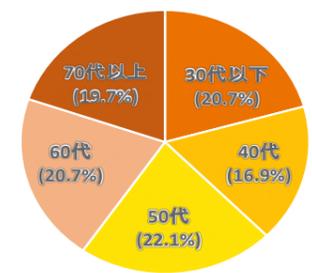
NPO法人こどもアート企画motoとだんだんテラスの会主催で、だんだんテラスにて「古着で何つくろ？」を開催しました。アート活動を通じてSDGsについて考えるワークショップで、古着や工場の製造過程で出る廃材など（ボタンやリボンなど）を使ってバッグを作りました。自分たちでデザインを考え、材料を選び製作した作品はどれも個性的な作品でした。また、だんだん手づくり市メンバーの作品の店もあり、裁縫に興味を持つ子供の様子も見られました。



1. 調査概要

○回答者属性

- 令和5年7月29日(土)～8月21日(月)でアンケート調査を実施し、総回答371票の内、**男山地域内回答者数は58%**でした。
- 地域内回答者の年代は、50代が最大で22.1%、次いで60代が20.7%となっており、**年代に偏りがない回答の結果を得ることが出来ました。**

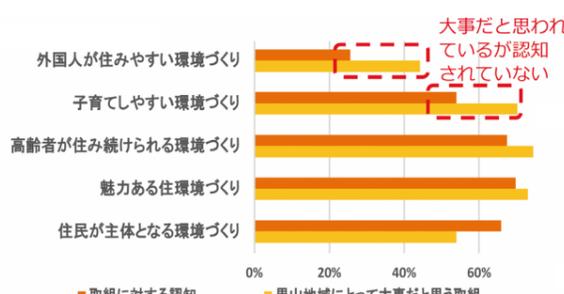


グラフ1：年齢別回答者割合

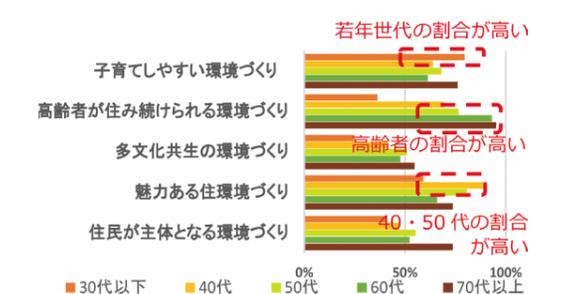
2. 連携協定による地域での取組について

○取組の認知と大事だと思う取組

- 「外国人が住みやすい環境づくり」を除く他の取組は、認知度及び大事だと思う割合は、共に半数以上を占めており、**男山地域内居住者の取組に関する認知度は高くなっています。**
- 「外国人が住みやすい環境づくり」や「子育てしやすい環境づくり」は、大事だと思う割合に比べて認知度が低い結果になっています。
- 「住民が主体となる環境づくり」は、認知度は高いが、認知度と比べて大事だと思う割合が低い結果となっています。
- 「子育てしやすい環境づくり」は若年世帯の大事だと思う割合が高くなっています。
- 「高齢者が住みやすい環境づくり」は高齢者の大事だと思う割合が高くなっています。
- 「魅力ある住環境づくり」は、特に40代・50代において大事だと思う割合が高くなっています。



グラフ2：取組に対する認知と男山地域のまちづくりにとって大事だと思う取組の割合比較

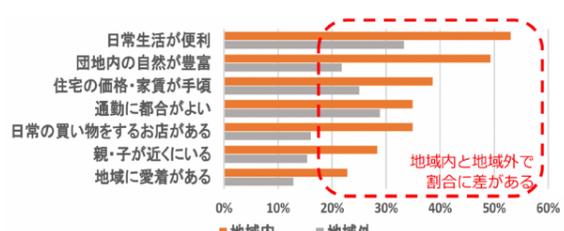


グラフ3：男山地域のまちづくりにとって大事だと思う取組（年齢別）

3. 今後の地域のまちづくりについて

○魅力と感じているところ

- 日常生活の便利さや、団地内の自然の豊かさを半数の地域内居住者が魅力と答えており、**住環境が一定評価されていることがわかります。**
- 男山地域内外で、魅力と感ずる割合に差があることがわかります。



グラフ4：男山地域の魅力と感じているところ（地域内外別）※地域内回答上位7位抜粋

自分で描いたイメージスケッチをもとに古着を加工します。作っていく過程でアイデアが思いつき、デザインを変更する子もいました。

自分がイメージするバッグと古着のデザインが合わずに苦戦する様子も中には見られましたが、最終的には納得のいく作品となりました。



だんだん手づくり市

粗品引換券

6月8日(土)開催の
だんだん手づくり市で
ご利用できます。

Madam Junkoによる

お魚ガーラントをつくろう！

好きな色の魚を3匹選んで紐につけます。木製クリップには写真など挟んで飾れます。

日付 6月5日(水)、26日(水)
時間 12:00～15:00
場所 だんだんテラス
参加費 ¥500

Madam Junkoによる

くまのキーホルダーをつくろう！

くまのキーホルダーをあみぐるみで作ります。1時間程度で完成できます。

日付 5月22日(水)
時間 12:00～15:00
場所 だんだんテラス
参加費 ¥500

Madam Junkoによる

泥大島コサージュを作ってみませんか？

コテを当て、ワイヤーを入れた花びらをボンドで組み合わせてコサージュを作ります。バックや洋服などのワンポイントにいかがですか。

日付 6月5日(水)、26日(水)
時間 12:00～15:00
場所 だんだんテラス
参加費 ¥800